



# 産学連携： 国立大学の現場から

東北大学大学院工学研究科  
経済産業研究所

原山優子

yuko.harayama@most.tohoku.ac.jp

harayama-yuko@rieti.go.jp



# 略歴

- ジュネーブ大学 (州立大学)
  - 経済学部教官 (8年)
- 経済産業研究所 (非公務員型独立行政法人)
  - 研究員 (1年)
- 東北大学 (国立大学)
  - 工学研究科技術社会システム専攻教官 (1.5月)

組織形態の違いを体験



# 産学連携： 東北大学の取組み(1)

- 未来科学技術共同研究センター (NICHe: 1998)
  - 大学に蓄積された知的資源をベースとして外部との共同研究を積極的に行う場所
  - インダストリー・クリエーション・セクション(10プロジェクト)
  - リエゾンオフィス: プラットホーム、技術相談、人材育成、大学研究成果の実用化支援
- 東北テクノアーチ (TLO: 1998)



# 産学連携： 東北大学の取組み(2)

- NICHe 新館：未来情報産業研究館(2002)
  - 新半導体・ディスプレイ産業創製プロジェクト
  - 産業界の支援
  - 省エネルギー対策、ナノメートルレベルの超微細加工・超高精密計測
- 東北大学ハッチェリー・スクエア(2002)
  - 学内インキュベータ
- 知的クラスター(2002)
- 社会技術システム専攻(2002)
  - 工学研究科にMOTプログラムを開設



# 産学連携： 東北大学の取組み(3)

## • 成功要因

### – リーダーシップ

- Experimentationの場としての認識

### – ダイナミックス

試行錯誤 ノウハウの蓄積 新しい試み

### – 推進力となる教官

### – 既存のルール 新しいルール作り

- Politics
- リーダーシップ
- 文部科学省・経済産業省の役割



# 産学連携： 東北大学の取組み(4)

## • 課題

- レジスタンスの存在
  - 学内のコンセンサス
  - 工学部・工学研究科のコンセンサス
- NICHeの役割の拡大
  - 人材確保？
  - 戦略？
- 国立大学の枠組み
  - 限界



# 産学連携の実践

- 教育
  - 外部のエクスパートを講師として招待
- 研究
  - 大学外研究機関との連携
- 外部とのリンケージ
  - 講演
  - コンフェランス開催
  - インフォーマルなミーティング



# 問題点

- バリア
  - 兼業の取り扱い
  - 煩雑な事務手続き
  - コントロール・システム
- インセンティブ
  - コアとなる活動への絞り込み
  - コスト・ベネフィット分析



# システム論(1)

- システムとアクター
  - システム ルール
  - Contingentな部分の存在 コーディネーション
- 文部科学省と大学の関係
  - 大学システムのルール
  - 構成要素の大学 大学の構成要素の教官
- 大学と教官の関係
  - 大学のルール
  - 構成要素の教官



## システム論(2)

- 二つのシステムが存在
  - システムのコーディネーション？
  - Contingentな部分
- 事務の役割
  - 大学のルールを遂行
  - 事務と教官の利益相反



# まとめ

- 現状
  - 産学連携の実践
  - 新しい制度への過渡期
- 国立大学法人化
  - 新しいフレームワーク
  - システムとアクターの関係
    - 透明性
    - 内部システムの見直し
  - 新体制・方針の準備
    - 不確実性